

IFALPA Safety Bulletin 「マニラ ニノイ・アキノ国際空港」



SAFETY BULLETIN

21SAB12
06 July 2021

(原文は、上記 IFALPA ロゴをクリックしてください)

不適切な舗装、チャート類、誘導案内標識、路面標識、灯火に注意！！

概要

マニラのニノイ・アキノ空港 (MNL) では、滑走路や誘導路、エプロン内の舗装状態や、チャート類、誘導案内標識、路面標識、灯火類などが不適切で、安全運航に影響を及ぼしているという報告が多く挙がっていることから、IATA は注意喚起を促す Operational Notice 03/2021 を発行しました。IATA は以前から空港管理者に対して、国際基準に準拠した適切な空港環境の整備を求めています。現時点で改善に至っておらず、離発着する航空機のパイロットは十分に注意する必要があります。

パイロットが特に注意すべき内容

- ・現在の空港レイアウトや縮尺、マーキング等が、チャート類の記載と異なる可能性
- ・空港周辺で航空機に対する不法なレーザー照射が依然として実施されている可能性
- ・RWY13/31 と RWY06/24 の交差部は「Hot Spot」であり、以下の3点で注意が必要
 - ⇒ 十分な灯火が設置されていない
 - ⇒ 路面標識や誘導案内標識が ICAO 基準通りではなく、保守管理が十分に実施されていない
 - ⇒ 誘導路の形状が複雑で間違えやすい

IATA Operation Note

就航する航空会社に対して、以下の点を周知します

- ・パイロットに対して、上記「Hot Spot」への適切な対応とリスク回避に関する周知を実施すること
- ・空港表面に関する不具合やそれに関連した懸念事項がある場合、速やかに空港当局へ連絡すること
- ・空港周辺で航空機に対する不法なレーザー照射を受ける可能性があることをパイロットに周知し、レーザー照射を受けた場合には、ATC へ速やかに口頭で報告すること。また、空港 SMS に対してメール報告を実施すること

以上